

# ⑬【複数年度(1年目)】デジタル予約アプリを活用したモビリティ・ハブ実証実験(熊本県八代市)

## 1. 実験概要、留意すべき項目

- AIオンデマンドバス・タクシー、レンタサイクル等多様な交通手段を接続し、シームレスに利用可能とするモビリティ・ハブを検証する。
- モビリティ・ハブの整備は先進性もあり、MaaSとの組み合わせにおいて有効性が期待され、先行事例となる可能性が高く、推奨すべき取り組みとなること。

## 2. 今年度の調査内容、調査結果

### ①デジタル予約アプリの開発

- ⇒多様なモビリティサービスについて、ワンストップで予約、検索できるデジタル予約アプリを開発
- ⇒JR新八代駅付近で利用できるモビリティサービスは5つあるが、実証期間中は8つに増える予定であり、本アプリではその全てに対応できる見込み

### ②イベント参加者へのアンケート調査

- ⇒イベント参加者を対象に、利用した交通手段等についてアンケート調査
- ⇒イベントは、昨年度開催実績では、国内外から延べ約8,000人の参加者があったことから、多くの来訪者の方を対象に調査を行うことができる見込み



モビリティ・ハブ見取図

## 3. 次年度の社会実験に向けて

実験メニュー	実験内容
デジタル予約アプリでつながるモビリティ・ハブの整備	AIオンデマンドバス、タクシー、レンタサイクル等様々なモビリティサービスを接続し、シームレスに利用可能とするモビリティ・ハブを整備
JR新八代駅を拠点とするAIオンデマンドバスの運行	AIオンデマンドバスを運行し、これまで対応できなかった移動需要に対応、その他の地域への展開の可能性について検証

# ⑬【複数年度(1年目)】デジタル予約アプリを活用したモビリティ・ハブ実証実験(熊本県八代市)

## 4. 今後のスケジュール

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ➤ 令和6年4月         | デジタル予約アプリの開発、各モビリティ準備 |
| ➤ 令和6年5月～10月     | 実証実験、利用状況調査           |
| ➤ 令和6年11月～令和7年1月 | 効果分析、評価               |
| ➤ 令和7年2月         | 報告書作成                 |

## 5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
鉄道の時間帯に合わせて、標準的な時刻設定をして乗降させる仕組みであれば、帰りも安心して利用できるのではないかと。	博多方面の新幹線利用者をメインターゲットとし、それに合わせた運行時間帯を設定します。
周知の内容として、オンデマンドバスの運行のみを押し出しても伝わらないため、観光コンテンツと連携した内容としてもらいたい。	周知の内容については、観光部署とも連携し、目的地と併せて本実証実験をPRします。
効果検証の部分でアプリの利用者数を挙げてあるが、くまモンポート施設全体の利用者数を把握した上で検証されるとより効果的ではないかと。	施設全体の利用者数の把握が可能かどうか施設管理者に確認を行い、可能であれば効果検証に反映します。
くまモンポートでレンタサイクルやキックボードを利用してもらおうのはいかがかと。	将来的にはその方法も考えられるが、管理上の課題や台数の制約があるため難しい。
AIを使った実験については、プレーヤーが誰になるか決まっていなパターンが多く、実装率が低い状況である。実装に向けた役割分担や費用負担についても検討されたい。	今後は民間事業者による事業化を見据えており、今回の実証運行はそのきっかけとなるものと認識しております。出来る限り実装を見据えた運行内容を検討します。

## 6. 評価

- ・ 順調に実験が進んでいる。
- ・ 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。